

平成 21年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472700556	事業の開始年月日	平成17年12月1日	
		指定年月日	平成16年4月1日	
法人名	株式会社 ジャパウイン			
事業所名	グループホーム 三浦こもれび			
所在地	( 〒238-0115 ) 神奈川県三浦市初声町高円坊 1.452			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	9名	
		ユニット数	1ユニット	
自己評価作成日	平成21年10月11日	評価結果 市町村受理日	平成21年12月10日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"><li>家庭的な雰囲気作り、自分も役割を持ち役に立っていることへの自信と喜びを感じて頂いている。</li><li>家庭的な食事の提供に努めている。敷地内に畑が有り、自分たちの手で育てた野菜を収穫し協働で調理して、作り育てる楽しみ、食べることへの喜びを大切にしている。</li><li>のどかな田園風景に囲まれ、時には馬の鳴き声が聞こえ、猫が毎日顔を出し、できる利用者が、できない利用者と助け合い、散歩の道すがら近隣の住民と挨拶を交わすなど穏やかに暮らしている。</li></ul>
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成21年11月10日	評価機関 評価決定日	平成21年12月5日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>◇ 事業所は、のどかな田園の中に位置しており、また、スペースの広い庭園を活用して、利用者が自由に外を出歩き寛げる環境に配慮している。</p> <p>◇ 経営者自身が“将来、自分が利用したいホーム”を目標に、家庭的で利用者の顔が見える1ユニットの施設で、管理者が率先垂範して精力的に運営に当たっている。</p> <p>職員、利用者は、その管理者の人間性に魅かれ、事業所全体としてまとまった家庭的雰囲気を作り上げている。</p> <p>◇ 利用者各自が持っている可能性を引き出すことを重視し、洗濯物の処理、調理、食事の準備、後片付けや園芸など、できることは手伝ってもらうことで、利用者の自立を支援している。</p> <p>◇ 食事は一般家庭と同じように食材からの自己調達で、調理は職員が交代で担当している。味付けの良いのを利用者が自慢し食事を楽しんでいた。</p>
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム 三浦こもれび
ユニット名	1

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまにある
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように
	<input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> 3, たまに
	<input type="radio"/> 4, ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている
	<input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている
	<input type="radio"/> 3, あまり増えていない
	<input type="radio"/> 4, 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が
	<input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が
	<input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが
	<input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが
	<input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・利用者の個性と人格を尊重し、個々の能力が発揮できる様取り組んでいる。	・経営者と管理者、職員で作り上げた理念を全員で共有しケアに活かしている。 ・毎日のミーティングに時間をかけ事例を通して実践につなげている。	・理念の実践に向け、職員の更なる介護サービスの向上を目指して、内部研修、外部研修の充実を期待します。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・地域のイベント、地域活動への参加の機会を多く持ち、交流の輪を広げるようにしている。	・地域とは、日常の散歩時に野菜をもらうなど、自然なつきあいをしている。 ・地域のイベントに参加したり施設の行事にお誘いして、交流の輪を広げている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・相談等を受けた時などは、支援策などを話すようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・利用者の状況、スタッフの出入り状況の報告等行い又家族、民生委員の意見を取り入れ、早期にサービスの向上に反映するように取り組んでいる。	・事業所の現状を報告後、参加者の自由な意見交換を重視している。 ・地域の情報や家族・利用者の意見をサービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・相談、指導、書類提出等は、電話やFAXではなく、役所に出向き協力関係を築くようにしている。	・月例の報告は、直接役所に出向いて行っており、情報交換の中で相互に協力関係を築くように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・出入口は常時開放しており、自由に入出入りができるようにしている。	・玄関は常時開放しており、利用者は自由に入出入りしている。 ・職員は、利用者が外に出たときは裏から周って偶然出会ったように対応して、個人の尊重と安全に配慮している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・小さな虐待も見逃さないよう、職員一体となり、声を掛け合い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・家族の必要性に応じて、活用できるように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・事前に文書にて説明、了解を得るようにしている。又来館時に再度説明、理解を得るようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・話し易い雰囲気作りを心がけ、意見、要望、問題点を速やかに対応できるようにしている。	・家族の来訪時には、親しく話し合える関係を築き、意見や要望を把握している。 ・来訪できない家族には電話や手紙で近況を報告し、意見や要望を聞いている。	・来訪が少ない、またできない家族には、利用者と家族が互いに絆を深める機会作りを検討中であり、具体化されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・全体ミーティングを行い意見、要望等を話し合う機会を設けている。	・毎朝のミーティングと全体ミーティングで職員に意見、要望を聞いて運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・代表者と役員が、月に何度か来館し、セミナー、研修会を行い、相談、要望を聞くようにして居る。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・個人研修を受けやすいシフト作りを心がけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	・市内のグループホームの勉強会や研修に参加しサービスの向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・ご本人、家族の思いを受け止め安心して頂く様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・家族が求めている物を理解し事業所として何処まで対応出来るかを話し合い次の段階に繋げている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・状況等を確認し、可能な限り柔軟な対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・本人の残存能力を活かし、協働しながら食事作りをしたり、暮らしの知恵などを頂いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・入居者の様子、状況を詳しく伝えると共に、職員の思いもお伝えしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・馴染みの人達が気軽に訪問出来る様な雰囲気作りを心がけている。	・食事の時の来訪者には一緒に食事を勧めたりして、利用者が、家族や友人と気楽に過ごせるよう配慮している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・日常生活の中で、関わりを多くもち、利用者同士の関係が円滑に成るよう働きかけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・電話での相談や、年賀状での挨拶を行い、必要に応じて訪問を行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・家族からだけではなく、縁者や他方面の関係者からの情報も得るようにし、本人の意向に沿うようにしている。	・職員は、利用者との日常の会話の中から暮らしについての意向の把握に努めている。 ・入所前の地域の民生委員、ケアマネージャ、市役所の担当者から情報の入手に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・以前利用されていたケアマネージャーや訪問ヘルパーからの情報を伝えて貰える様な関係作りに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・入居者の生活のリズムを早期に把握し、変化を見逃さないように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・本人や家族には、訪問時や、日頃の関わりの中で思いや、意見を聞き介護計画に反映させるようにしている。	・毎日のミーティングでの情報、家族との面談、電話、手紙での意見交換で得た要望をケアカンファレンスに反映し、介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・個別ファイルに日常生活の様子や、本人の言葉、排泄状況、食事摂取、水分摂取、身体状況などを記録に残すようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・できる限り柔軟な対応に心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・事業所として可能な限りの対応をし、穏やかな生活が出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・医療連携体制が有り、主治医と事業所の連携ができており、適切な医療が受けられる。	・医療連携体制が有る。 ・本人、・家族の入所時の希望を優先しているが、事業所の契約医とは、24時間対応の緊密な連携で利用者の健康管理に当たっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・週一回の訪問看護が有り、利用者の変化、状態を伝え、適切な対応をして頂くようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	・長期入院によるダメージを防ぐ為に、入院先の医師、看護師、家族と話し合い、早期退院に向けたためかかりつけ医との連携に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・重度化した場合の対応、終末期のあり方について、本人、家族の意向を踏まえ、事業所、かかりつけ医とその時の状態に合わせた話し合いを行っている。	・本人、家族の意向を尊重し、主治医、看護師、家族、職員の緊密な連携と協力の中で、重度化の状況に応じて、最大限の対応をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・救命講習会に参加したり、看護師に初期対応の処置などを聞くようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・防災訓練時に、シュミレーションを行うなどしている。	・消防署の指導で、現場での実地研修と利用者の避難誘導の訓練、消火器の使用方の訓練を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	スタッフの意識向上を図り、言葉掛けや対応が配慮した物であるように徹底している。	・一人ひとりのペースとスペースを大切に、言葉をかけ、また、聞き役に徹するなど、個々の利用者に対応し支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	居室担当を決めてあり、相談や希望を話せるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・朝食後に当日の行事内容などをお話し、なるべく個人の希望を取り入れ支援を行う様に取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・お化粧をしたり、スタッフと洋服の相談をし、おしゃれを楽しんでいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・毎日ではないが、できる限り行っている。	・地元の野菜や魚を食材とし、職員の家庭的な献立と味付けで手作りしている。癒しの音楽をバックに話をしながら楽しい食事時間を演出している。利用者への職員の配置にも配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・主治医と相談行い、個人に合わせた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・利用者個人で歯科医によるメンテナンス行ってもらい、ご自分で出来ない部分は、スタッフの介助行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・夜間オムツ対応の利用者でも、声かけでポータブルトイレに座って頂き排泄していただいたり、日中は、リハビリパンツ利用して頂き、スタッフが誘導介助を試みている。	・自尊心に配慮しながら、スタッフの誘導介助や見守りで、一人一人に応じた排泄の自立支援を目指して努力している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・朝食事（牛乳）夕食事（ヨーグルト）を毎日提供し、朝・午後より体操の時間を設けている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	週2回行っているが、状態又は希望に沿い臨機応変に対応している。	・入浴の嫌いな人もシャワー浴ができるようになり家族に喜ばれている。 ・脱衣を好まない人には、時間に関係なく好機を捉えて入浴するよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・利用者の睡眠パターンを把握し、その人にあった支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・スタッフ皆が理解しており、変化や、変更があった場合、主治医、医療連携Ns、管理者より情報が入るようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・季節の行事食、個人個人の好物を皆で作ったり、洗い物、洗濯干し、など個人の体調に配慮しながら行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・家族と連絡を取り、お墓参りに出かけたり、地域の農園で、芋ほりや、みかん狩りなどが、できるよう支援している。	・事業所の広い敷地には、ベンチやテーブルを備え、畑もあり、利用者は、自由に戸外に出て楽しんでいる。・天気の良い日は農道の散歩を日課とし、外食の時にはスーパーで買物も支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・食事に行った帰りや、買い物時に、ホーム立替で、現金を渡し、買い物をして頂いている。又小銭を何時も持っていたいと言う方には家族了承の元に所持して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・レクレーション等で、絵手紙を作ったり、ホームにある電話の子機を利用し必要に応じて、掛かって来たり、掛けたり出きるようにしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・廊下には、天井部分の窓から、日が差し込み心地よく、共有部分も広く、空調の調節、空気の取り入れなど、季節、天候に合わせ、居心地の良い工夫をしている。	・廊下は全て吹き抜けになっていて日が差し込み、採光と換気に配慮している。 ・居間、浴室、トイレはゆったりしており、清潔に管理している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・和室に大きな掘りごたつが有り、寝転んだり、お茶を飲んだり、思い思いに過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・新しい家具等を購入するのではなく、自宅で愛用していた使い慣れたなじみの物を使って頂き、居心地の良い空間を作っている。	・利用者は、自分の作品や家族の写真を飾るなど、居心地の良い部屋作りをしている。 ・居室入り口に持参したお気に入りのぬいぐるみを掛けている人もいます。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・廊下、洗面所トイレ等共有箇所に手摺りを取り付けて有り、居室入り口に、大きなネームプレートと個人の目印になる飾り付けをしている。		

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 三浦こもれび  
 作成日 平成 21 年12 月5 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	・イベント等への参加を多くするようにしているが、歩行困難で車椅子で行ける箇所が限られている。	・ボランティアや家族に協力をお願いする。	・ホーム通信を活用して、家族に参加を呼びかける。	3か月
2	4	・運営推進会議に参加してくださる日時が合わず、どうしても人数が限られてしまう。	・参加可能な親類の方への呼びかけ、近隣の住民への参加を呼びかける。	・家族、訪問者に内容をお話し、また、近所の方にも説明して参加していただく。	3か月
3	14	・市内の勉強会や、研修に参加しているが、内容を職員全員が把握する発表会などの場ができていない。	・研修レポートを提出してもらおうようにする。	・レポート提出後、2週間以内に発表の場を持つ。	3か月
4	35	・災害対策としての避難訓練を、利用者の状況に合わせて、定期訓練以外でも行いたい。	・全体会議で検討して、日程を組むようにする。	・定期訓練外のため、利用者が混乱しないように行う。	1か月
5	40	・近隣にスーパーマーケットなどがなく、買い物は限られた利用者のみしか、同行できない。	・毎日1回、本人の食べたいものを提供する。	・前日に本人に聞き、できるだけ買い物に行くようにする。	1か月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。